

共生・協働の農村づくり運動

むらづくり通信

VOL.9

～ 人と自然と地域が支え合う みんなで創る農村社会 ～



地域ぐるみの共同活動のひとつ (薩摩川内市黒木地区)

鹿児島県では、農村の活性化を図るため「農村集落の再生」「新たなむらづくりの形成」「むらづくりの維持・発展」に向けて、地域の資源を活用し、NPOや都市住民など地域外の活力を導入した「共生・協働の農村(むら)づくり運動」を展開しています。



鹿児島県農政部農村振興課

鹿児島県共生・協働の農村づくり運動推進協議会



平成27年度豊かなむらづくり全国表彰事業 薩摩川内市黒木地区コミュニティ協議会が九州農政局長賞受賞

薩摩川内市黒木地区コミュニティ協議会では、コミュニティ協議会を拠点に農業の振興や農地の保全、地域資源を活かした都市農村交流活動など新たな取組を展開し、地域ぐるみで取り組む持続的なむらづくり活動が評価され、平成27年度豊かなむらづくり全国表彰事業(九州ブロック)において、「九州農政局長賞」を受賞しました。



豊かなむらづくり全国表彰事業(九州ブロック)表彰式



九州農政局むらづくり審査会での発表

○黒木地区の概要

- ・人口約760人(352世帯)
- ・9集落で構成
- ・主な作付品目
 水稻、肉用牛等

●「地域の農地は地域で守る」体制



担い手農家への農地集積による生産性向上

規模拡大を図る担い手農家への農地集積、WCS用稲や裏作での飼料作物の作付などにより、水田を有効に活用した営農体系を確立し、水稻と畜産の複合経営の安定化を図ると共に、耕作放棄地の発生を防止しています。

住民が「地域の農地は地域で守る」意識を持ち、地域ぐるみで水路や農道の保全活動に取り組んでいます。



●農業との連携による子育て支援



地域運営の学童保育による焼酎用さつまいもの栽培

地区外の若年世帯へ働きかけ、小学校の児童数を増加させるとともに、新たに学童保育「黒木わいわいクラブ」を設立しました。

地元酒造会社と連携したオリジナル焼酎の製造・販売により運営資金を確保しています。

●地域資源を活かした交流活動



地域のシンボル石倉を利用した直売所

「石ぐら直売所」を開設し、高齢農業者等が生産した農産物や加工品等を販売するなど地域内外の住民との交流活動を行っています。

鹿児島市内の小学校との米づくり体験交流



鹿児島市内の小学校との米づくり体験、県外の修学旅行生の受入等に取り組み、都市と農村の交流活動を展開しています。

「共生・協働の農村づくり運動表彰」 県知事賞受賞地区の紹介



県では、「共生・協働の農村づくり運動」の全県的な取組を推進するため、地域の自主的な話し合いを基本に、他の模範となる共生・協働のむらづくりの実践活動を行っている地区等を表彰し、広く県民に紹介しています。

なお、受賞地区の活動内容の詳細については、県ホームページで紹介しています。

※県ホームページ: ホーム > 産業・労働 > 食・農業 > 農村振興 > むらづくり > 共生・協働のむらづくり表彰 > 共生・協働の農村(むら)づくり運動表彰

平成26年度受賞地区

～企業や大学等の多様な主体との連携による地域資源を活用したむらづくり～
佳例川地区自治公民館(霧島市)

- ◆ 大学生や企業(株)トヨタ車体研究所)と連携し、農作業や新米ウォーキング大会など都市農村交流活動を展開しました。
- ◆ 地元産のお米を「佳例川源流米」として、企業の社員食堂で利活用してもらうなど販売促進を図りました。
- ◆ 希少品種さつまいも(蔓無源氏つるなしげんじ)を使ったプライベートブランド焼酎の小売店を集落内に開店しました。

世帯数	187戸
農家戸数	140戸
農地面積	379.4ha (田92.2ha 畑283.5ha)
主な農産物	水稻, 生産牛

(H26, 12月)



企業の社員食堂での佳例川源流米イベント



新米の収穫時期に合わせたウォーキング大会



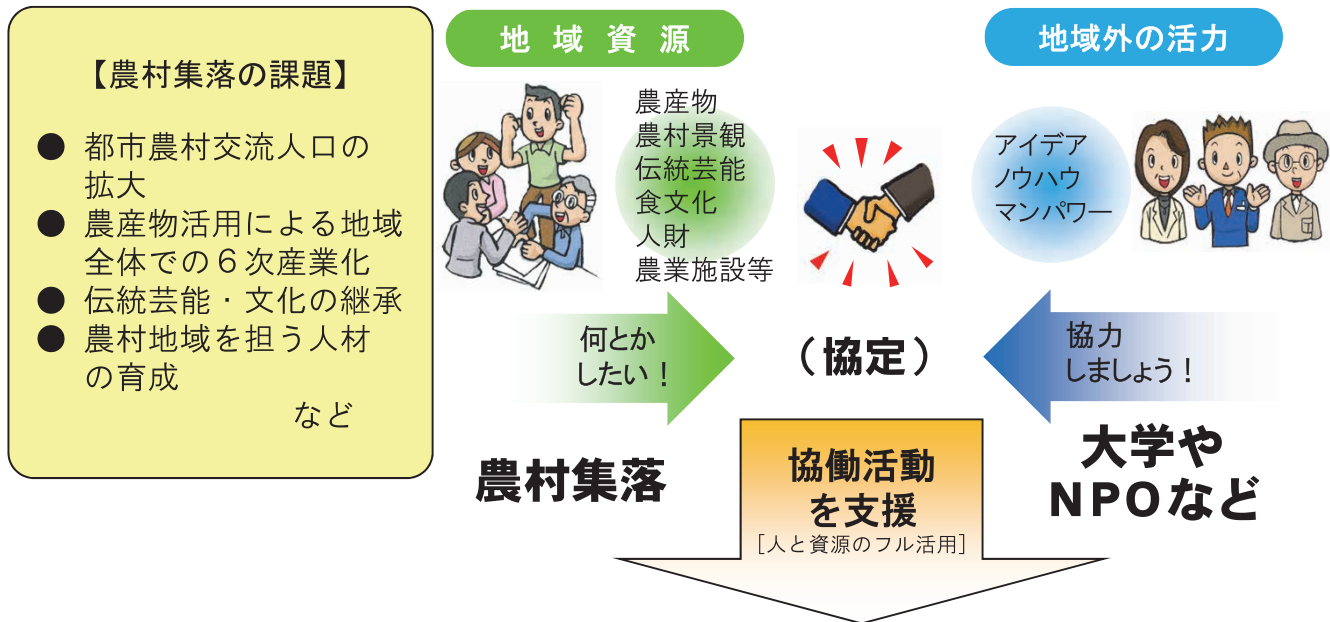
「かれがあの焼酎屋」を地域内に開設

これまでの受賞団体～農村集落部門～

年度	市町村	地区(団体)	全国表彰受賞実績
19	薩摩川内市	倉野地区	
	垂水市	新城地区	農林水産大臣賞受賞(H25)
	曾於市	中谷地区	農林水産大臣賞受賞(H20)
20	薩摩川内市	大馬越地区	九州農政局長賞受賞(H21)
	始良市	住吉地区	
21	さつま町	永野地区	九州農政局長賞受賞(H22)
	曾於市	鶴木地区	
22	指宿市	上野地区	
	西之表市	現和地区	日本農林漁業振興会会長賞受賞(H24)
23	日置市	高山地区公民館	農林水産大臣賞受賞(H26)
	薩摩川内市	黒木地区コミュニティ協議会	九州農政局長賞受賞(H27)
	鹿屋市	大始良共生・協働むらづくり委員会	
	伊仙町	阿権むらづくり委員会	
24	指宿市	新西方むらづくり推進協議会	
	伊佐市	石井地区むらづくり委員会	
25	日置市	吉利地区公民館	
	さつま町	中津川区むらづくり委員会	
	肝付町	川上校区むらづくり推進委員会	

平成27年度 共生・協働のむらづくり活性化事業の取組紹介

県では、農村地域の過疎・高齢化が進む中、大学やNPOなど地域外の多様な主体と協働して取り組む、地域の豊かな自然や伝統芸能、食材などの地域資源を活かしたむらづくり活動を支援しています。今回は、平成26～27年度の本事業に取り組んだ3地区をご紹介します。



うわば
《上場地区(湧水町)とNPO法人Lかごしまとの協働活動》

「うわば」の地域資源で広げる交流人口

湧水町の南部に位置する上場地区は、従来からむらづくり活動が盛んな地域であり、平成26年度からNPO法人Lかごしまと協働し、地域資源を活用した交流人口の拡大に取り組んでいます。

上場の伝統芸能や食材、人材など多彩な地域資源を掘り起こし、これらを紹介するパンフレット「うわばのわ」を作成し、イベントでの配布など地域PRに活用しています。

また、春の高原ランニング大会での農産物販売や青壮年部が中心となった約4haの菜の花植栽による景観形成、修学旅行生の受入体制整備などの活動を通して、交流人口の拡大や2戸の移住者の確保など上場地区に賑わいをもたらしています。

今後は、菜種油の製造など新たな特産品を開発し、地域資源を活用したむらづくりを展開していきます。



地域資源を紹介するマップ



くりの高原ランニング大会での農産物販売

やどりはら

《宿利原地区公民館(錦江町)と鹿児島純心女子短期大学との協働活動》

「寒干し大根」で地域ぐるみの6次産業化

標高200mの台地に位置する宿利原地区は、海からの寒風で乾燥させる特産品「寒干し大根」の生産が盛んな地域です。宿利原地区の冬の風物詩である「大根やぐら」を活かして、交流人口の拡大を図ろうと、平成22年度から「大根やぐらライトアップイベント」に取り組み、毎年約1,400人が訪れるイベントとして定着しています。

今回、鹿児島純心女子短期大学との協働で「寒干し大根」を活用した加工品の開発に取り組みました。

地区内で結成した女性部が中心となり、消費者に求められる商品づくりを目指し、加工技術研修会や試作を重ね、鹿児島純心女子短期大学の大学祭での試食会などに取り組み、商品化しました。

干し大根と調味料をセットにした「マイ壺漬けセット」をイベント等で販売し、地域ぐるみの6次産業化で農村の所得向上、宿利原地区のPRにつなげていきます。



ライトアップされた大根やぐら



鹿児島純心女子短期大学での試食・販売

くきな

《荃永地区自治公民館(南種子町)とNPO法人食育研究会らく楽料理教室との協働活動》

地域で取り組む「赤米」を活用した商品づくり

種子島の南東部、南種子町荃永地区の宝満神社には、祭神「玉依姫(たまよりひめ)」が竜宮より赤米を持ち帰り、種子島で稲作を始めたという赤米伝説が残っています。

平成26年度から、赤米の交配種「たまより姫」を活用した新たな特産品開発や御田植祭等伝統芸能の継承など、赤米を核としたむらづくり活動に取り組みました。

地区公民館に婦人会を中心とした加工グループを結成し、NPO法人食育研究会らく楽料理教室との協働で、赤米を活用した「棒寿司」や伝統料理「つのまき」をアレンジした「赤米つのまき」の試作に取り組みました。

これらを公民館の運動会や行事等で試食会を重ね、物産館での販売に向けた商品づくりに取り組んでいます。

今後も種子島宇宙センターなど観光地に近い地の利を活かして、地域資源を盛り込んだパンフレットを活用し、地域の交流人口をさらに拡大していきます。



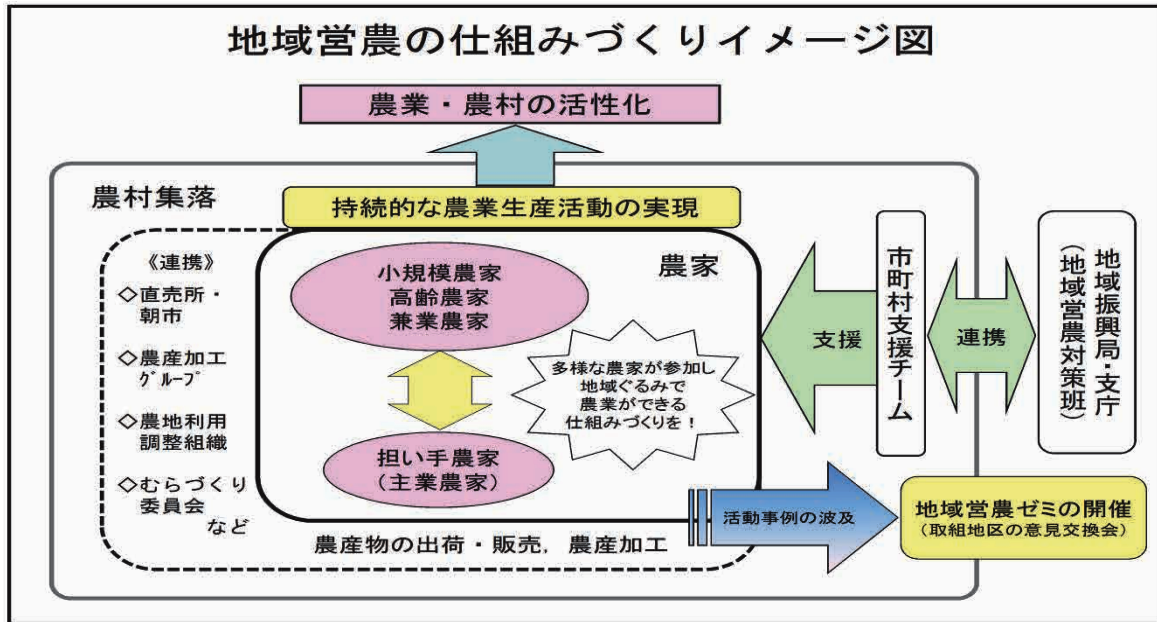
NPO法人食育研究会らく楽料理教室
榎木春幸氏の指導による赤米の加工研修



「赤米つのまき」の試作

平成27年度 地域営農の仕組みづくり実践事業の取組紹介

県では、地域農業の維持・発展を図るため、担い手農家だけでなく、高齢農家や小規模農家など地域の多様な農業者が参加し、地域ぐるみで持続的な農業生産活動を行う地域営農の仕組みづくりを推進し、その実践活動に対して支援を行っています。



《水田営農を維持するための取組 ～川上営農推進協議会(いちき串木野市)～》

いちき串木野市川上地区は、市の内陸部に位置し、主に水稲やさつまいもの栽培などが行われている地域です。これまで、営農を維持するため戸別に農作業の受委託等が行われていましたが、高齢化等による離農が進み、耕作放棄地が増えることが懸念されたため、平成26年に「川上営農推進協議会」を設立し、水田営農を維持する仕組みづくりの構築に取り組んでいるところです。

協議会では、農作業の受託体制を整備するとともに、裏作や転作による水田の有効利用を図るための、そばやレタスの実証や、水田畔の除草作業など農作業の負担軽減を図るためのカバープランツ（ヒメイワダレソウ）の実証を行い、地域での普及に取り組んでいます。

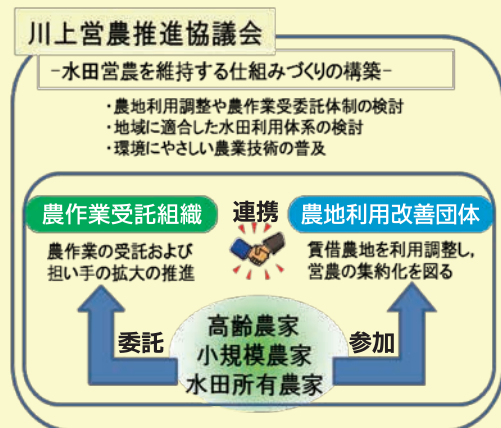
今後は、農作業の受託組織を設立して、受託の拡大や水田の有効利用に取り組むとともに、農用地利用団体の設立による担い手への農地集積を図りながら、地域営農の拡大に取り組む計画です。



そばの実証



レタスの実証



《 持続的な農業発展を目指した取組 ～厚地営農組合(南九州市知覧町)～ 》

南九州市知覧町厚地地区は、水稻の栽培が盛んな中山間地域です。高齢化や後継者不足による離農や鳥獣被害により、耕作放棄が懸念される中、平成24年に「厚地営農組合」を設立しました。

組合では、農業生産や農作業等の受託による効率的な農業経営を行い、地域農業の担い手として活動することを目指しています。

このため、「何でも品評会」や「そば打ち体験」などの地域住民との交流を通じて組合活動のPRを行っており、平成27年は18.1haを受託（事業実施前は14.5ha）し、そばやWCS用稲等を作付けして水田の有効利用に取り組んでいます。また、新たな品目としてさといも等の実証も行っています。

今後も、地域住民との交流などを通じたPR活動による受託作業の拡大や、水田の有効活用の推進に取り組み、厚地地区の農業の持続的な発展に取り組む計画です。



そば打ち体験で営農組合の活動をPR



水田の有効利用を目指した
さといもの実証

《 年間を通じた農産物の販売を目指した取組 ～(有)サン奄美(奄美市住用町)～ 》

奄美市住用町で活動する、農産加工グループ「(有)サン奄美」は、地域で採れた農産物や加工品の製造・販売を行うために設立されました。

これまでは各農家と個別に農産物などの取引を行っていましたが、地域営農の維持のため、平成26年に生産者グループ「ものづくりすみよう」（構成員12人）を立ち上げました。

これまでに、野菜の生産が少ない夏季に出荷できる品目としてモロヘイヤやエンサイ、ピーマンなどの実証を行い、年間を通じた農産物の販売等に取り組んでいます。

また、地元農産物を利用した加工品を開発し、島内販売やイベント販売を行い、販路拡大に向けたPR活動等も行っています。

今後も生産者グループと連携した活動を充実させながら、地域営農の推進や販路拡大に取り組み、地域営農の活性化に取り組む計画です。



年間供給体制づくりに向けた栽培講習会



月に1回開催する朝市
「ものづくりすみよう」が生産した野菜を販売

人とふれあう。自然を楽しむ。感動の農村体験！ ～かごしまのグリーン・ツーリズム～



本県の豊かな食や自然などの魅力を生かして、農家民泊や農作業等を体験する教育旅行の受入れを中心に、農産物直売所や体験農園等を活用した交流などのグリーン・ツーリズムの取組が県内各地で展開されています。

「むらの魅力体験バスツアー」を実施しました。

県では、農村の隠れた地域資源「むらの魅力」を体験するバスツアーを2回実施しました。

平成27年10月26日に、日置市、いちき串木野市、阿久根市を回る「中薩摩編」、平成27年11月16日に、肝付町と錦江町を回る「大隅編」を実施し、それぞれ県内外から約20人ずつが参加して、地元ガイドによる集落散策や加工品づくり、直売所での買い物等を楽しみました。

今回のツアーを契機として、より多くの方々にグリーン・ツーリズムの魅力が広まるとともに、地域における受入態勢のさらなる充実や発展が期待されます。



鹿児島県における体験型教育旅行が人気！

県外の中学校や高校が修学旅行で鹿児島県を訪れ、農業・漁業体験を行い、農家に宿泊する「体験型教育旅行」が増加傾向にあります。

これは、県内各地で、地域資源を活かした農業や漁業体験メニューが豊富なこと、受入農家とのふれあいが生徒の貴重な思い出になることなどが人気の要因で、交流人口の拡大や収入機会の確保など農村の活性化に大きく寄与しています。

現在、生徒を受け入れる登録農家等が県下で1,000軒を超え、また、農家民泊の開業も100軒を超えるなど、地域が一体となって生徒たちを受け入れる態勢ができています。



むらづくりに関する情報提供・相談窓口

県では、農村集落が主体となって取り組む活動等の情報を本誌や新聞、ホームページ等で紹介しています。あなたの地域のむらづくり活動情報の提供など共生・協働のむらづくりに関することは、最寄りの市町村役場または各地域振興局・支庁農政普及課へお問い合わせください。

共生・協働のむらづくり通信 第9号(平成28年3月発行)

編集・発行:鹿児島県農政部農村振興課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

TEL:099-286-3108

鹿児島県ホームページ(むらづくり, グリーン・ツーリズム)

<http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/nogyo/noson/index.html>